

令和3年度優良生産者表彰受賞者紹介

2月22日に予定していた『農畜産物生産者大会』の開催に向け準備して中止となりましたが、今年度も優れた実績を上げられた生産者などに対し、各本来であれば多くの生産者が集う、同会で表彰式を行い、その栄誉を皆でそこで、今月号の特集ではその御功績を称えて本誌にて受賞者をご紹介させ本誌をご覧の皆様。受賞者にお会いした際には一言「おめでとう！」とお声「8人の受賞者の皆様。この度は誠にありがとうございました」

りましたが、JA管内における新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中関係機関より表彰状が送られました。称え合うところではありましたが、それが果たせませんでした。て頂きます。がけ下さいますようご協力お願い致します。

藤里町長賞

桐越 友毅 氏(藤里町)

桐越氏は経営移譲して2年目ですが、藤里町内でも農業従事者の高齢化と担い手不足が著しい地域とあって、経営移譲する前から地域のリーダー的存在としてご活躍しております。

経営規模は水稲のほか、無人ヘリコプターによる防除作業を請け負っており、地域農業の牽引役としてご活躍されております。

今後とも、地域の担い手農家の模範として、より一層のご活躍をご期待申し上げます。

経営概要
水稲作付：2,862 a



秋田県山本地域振興局長賞

萩原 勝則 氏(能代市)

萩原氏は水稲栽培のほか、白神ねぎ、白神きゃべつを栽培し、複合経営に積極的に取り組んでいます。家族経営のため、栽培可能面積は限られますが、各作物の栽培管理技術に優れ、高品質な農産物を常に出荷いただいております。

また、稲作に関しては、昨年行われた全農あきた主催の「美味しいあきたこまちコンテスト」で入賞を果たすなど、輝かしい結果を残してくれました。

経営概要
水稲作付：1,000 a
白神ねぎ：20 a
白神きゃべつ：30 a



全国農業協同組合連合会秋田県本部長賞

大倉 均 氏(能代市)

大倉氏は稲作において地域農業におけるリーダー的存在として、積極的に当組合が開催する栽培講習会等に参加し、日頃より技術の研さんに努めております。自身が習得した技術や、最新の営農情報は惜しみなく地域の生産者に伝えるなど、地域農業の先頭に立ち活躍されております。

また、昨年は第40回秋田県産米品評会に出品された「めんこいな」が最優秀賞に輝くなど、水稲栽培管理技術に優れ、高品質な農産物の出荷に日頃よりご尽力を頂いております。

経営概要
水稲作付：630 a



能代市長賞

農事組合法人 米専やすい
(能代市二ツ井町)

平成29年3月に三つの経営体が集まり設立されました。

担い手不足が著しい地域に合って、積極的に農地集積に取り組み、水稲のみの経営形態ではありますが、主食用米のほかに飼料用米等を栽培し、地域の担い手として稲作をリードしております。

また、農地集積に伴い農地が広域となり圃場条件もそれぞれ異なる中、防除用ドローンを導入し圃場条件に適した防除を実施するなど、品質の維持向上に余念がありません。

経営概要
水稲作付：2,600 a



Congratulation!!

認定「白神の達人」～白神ねぎの達人～

清水 健吾 氏(能代市)

清水氏は、平成30年から令和2年までの秋田県種苗交換会で、3年連続1等賞(秋田県知事賞)を受賞し、顕彰者として第144回秋田県種苗交換会において表彰されました。

出荷される「白神ねぎ」は、肥培・栽培管理の徹底と、丁寧な作業が常に評価されています。出荷される「白神ねぎ」については、常に高品質なものばかりで高評価を得ております。

今後とも、「白神ねぎ」のブランドとしての位置づけを更に確立していくためにも、引き続きご尽力いただきたいと存じます。

「適期栽培管理」が信条。
2度手間にならないよう手抜きは禁物



経営概要

水稲作付：243 a
白神ねぎ：150 a

あきた白神農業協同組合長賞

桜田 和浩 氏(能代市二ツ井町)

桜田氏は水稲のほか、当JAの主力品目である「白神山うど」、「アスパラガス」等を栽培し積極的に、複合経営に取り組んでおります。

また、山うど部会長としても若手生産者を育成しながら部会を盛り上げていただいております。昨年、能代市で開催した第144回秋田県種苗交換会には、来場者に「白神山うど」をPRしようと、収穫時期をずらして栽培した良質な「白神山うど」を出品。見事、一等賞各部優秀賞を受賞するなど、来場者に「白神山うど」をPRしてくれました。

地域の伝統野菜栽培を
途切れさせないために



経営概要

水稲作付：1,180 a
白神山うど：100 a
アスパラガス：30 a

功 勞 賞

加藤 博正 氏(藤里町)

加藤氏は、平成17年度から令和2年度まで16年間に渡り、菌茸部会部会長としてご活躍され、白神農産物の振興にご尽力されました。

過去の秋田県種苗交換会においては、農林水産大臣賞のほか3年連続1等賞(秋田県知事賞)を受賞し、顕彰者として表彰された加藤様。

令和2年度で菌茸部会が園芸部会と合併となりましたが、長い間のご尽力には目を見張るものがあります。今後とも、菌茸部門のリーダーとして、引き続きご尽力頂きたいと思っております。

多くの菌茸部会員に支えられて
感謝！感謝！感謝！



経営概要

水稲作付：930 a
舞 茸：5,250個
(菌床数)

あきた白神農業協同組合長賞

木村 徹 氏(能代市)

木村氏は水稲のほか当JA主力品目である「白神ねぎ」や「白神みょうが」等の栽培を行い、複合経営に取り組んでおります。

秋田県種苗交換会農産物出品展には、毎年様々な農産物を出品いただいておりますが、昨年の第144回秋田県種苗交換会においては、出品した「ネギ」で二等賞を受賞したほか、水稲「あきたこまち」の稲株では、見事一等賞各部優秀賞に輝くなど、栽培する作物全般における栽培管理技術に優れ、高品質出荷を心がけられております。

今後とも、地域の担い手農家の模範として、より一層のご活躍をご期待申し上げます。

常に消費者目線で
「おススメ」してもらえるモノを作りたい



経営概要

水稲作付：400 a
白神ねぎ：22 a
白神みょうが：35 a